

第4次大船渡市男女共同参画行動計画における 令和2年度及び令和3年度の特徴的な事業(取組)について

基本目標1 一人ひとりが尊重されるまち



No.	事業(取組)名	令和2年度取組状況	令和3年度取組状況
2	男女共同参画「いきいき講座」、「いきいき出前講座」開催事業	・親子なかよし木工教室を開催した。 【10組23人参加】	・「多様な性(LGBTQ+)」をテーマとした市職員意識啓発講座を開催した。【市職員39人が受講】
3	男女共同参画に関する情報の収集	・いわて男女共同参画サポーター養成講座で得た情報や資料を庁内関係部署間で共有した。	・岩手県や岩手大学などが開催する各種研修会などの開催情報を市ホームページに掲載した。 ・研修会などの資料について、庁内全般で情報共有を図った。
9	幼児・児童・生徒の男女平等教育の充実	・全ての市立小中学校において男女混合名簿を作成し、使用するとともに、男女平等の概念の啓発を図った。 ・市立こども園では、教育・保育目標に基づき、園児の個性などを尊重するよう適切な環境づくりを実施した。	

基本目標2 男女がともに参画し合うまち



No.	事業(取組)名	令和2年度取組状況	令和3年度取組状況
1	審議会などへの女性の登用促進	・令和2年4月1日現在の女性委員登用率【36.8%】(前年より0.6ポイント上昇)	・令和3年4月1日現在の女性委員登用率【37.1%】(前年より0.3ポイント上昇)
2	地域や各種団体における女性参画の促進	・子ども食堂の取り組みを行っているおおふなと男女共同参画「うみねこの会」の活動について、市広報紙の「いきいき通信」で周知した。	・協働のまちづくりに係る取組の先行地区である日頃市地区において、より柔軟な地区運営を図るために設置された「ひころいち町まちづくり推進委員会」で、総会の構成員に各地域の女性部長を加え、女性の視点に基づいた意見が反映される仕組みを整えた。
3	男女の公平な評価と待遇の促進	・「岩手女性の活躍応援セミナー」など研修会や関連制度などの情報を市ホームページで周知した。 ・令和2年4月1日現在の市職員の女性管理職【全管理職211人中50人=23.7%】	・市内女性団体や商工会議所へ研修会などの開催情報を提供するとともに、市ホームページで周知した。 ・令和3年4月1日現在の市職員の女性管理職【全管理職208人中50人=24.0%】

基本目標3 男女がともに支え合うまち 【女性の活躍推進計画】



No.	事業(取組)名	令和2年度取組状況	令和3年度取組状況
3	「ワーク・ライフ・バランス」に関する意識啓発	・市立図書館で関連図書展を実施し、ワーク・ライフ・バランスに関する啓発パネルや図書を展示した。	・前年度と同様に、関連図書展を実施した。
6	「女性活躍推進事業主行動計画」に基づいた女性支援の推進	・市広報紙の「いきいき通信」において、「えるぼしマーク」や「くるみんマーク」(女性活躍と子育て支援に取り組む企業の認定制度)について周知した。	・市内商業施設及び高校(大船渡高校、大船渡東高校)で、啓発パネル展を実施した。(高校は10~11月に実施)

※下線部の取組は、令和3年度に新たに実施したものです。

No.	事業（取組）名	令和2年度取組状況	令和3年度取組状況
新規	市議会における男女共同参画の促進	・令和3年3月に、大船渡市議会会議規則の一部改正を行い、会議などへの欠席事由として育児、看護、介護などを明文化するとともに、出産について、産前・産後期間にも配慮した規定を整備した。	
19	起業に関する各種支援の推進	・起業・経営等無料相談会を実施した。【相談件数9件】 ・女性起業家などのネットワークである「けせん女志会」が開催した「オンラインサロン」において、市や国の新型コロナウイルス感染症に関する補助制度について説明した。【女性起業家20人参加】	・起業・経営等無料相談会を実施した。【上半期相談件数8件】 ・前年度と同様の「オンラインサロン」において、コロナ禍における参加者の活動状況などについて情報共有を図った。【女性起業家10人参加】

基本目標4 みんなが健康で安心して暮らせるまち



No.	事業（取組）名	令和2年度取組状況	令和3年度取組状況
3	性的マイノリティへの理解促進	・性的マイノリティに係る相談窓口のチラシを市民ホールに配架した。 ・市広報紙の「いきいき通信」において、理解促進を図る記事を掲載した。	・市立図書館で関連図書展を実施した。 ・市内商業施設及び高校（大船渡高校、大船渡東高校）で、啓発パネル展を実施した。（高校は10～11月に実施） ・「多様な性（LGBTQ+）」をテーマとした市職員意識啓発講座を開催した。【市職員39人が受講】
令和元年度追加	子育て世代包括支援センター事業	・全ての妊婦に対し、面接や相談を実施し、情報提供・助言・保健指導などの必要な支援を行った。 ・新たに産前・産後サポート事業を月2回実施した。【延べ12組利用】 ・新たに産後ケア事業を月1回実施した。【延べ6組利用】	・前年度と同様の事業を継続して実施した。 ・新たに子育て支援アプリを導入し、各種サービスに係る情報などを発信した。
16	DVなどの相談窓口周知	・延べ8件の相談対応を実施した。 ・「女性に対する暴力をなくす運動」や「デートDV」に関する記事を、市広報紙の「いきいき通信」や市ホームページへ掲載した。 ・DV相談窓口カードを市内公共施設などへ配架した。 ・11月に市内商業施設において、いわて男女共同参画サポーターの会気仙ブロックとおおふなと男女共同参画「うみねこの会」が共同で実施した、「女性に対する暴力をなくす運動」に係る街頭啓発活動を支援した。	・上半期で、延べ4件の相談対応を実施した。 ・関連図書展や啓発パネル展においてリーフレットなどを配架した。 ・市広報紙の「いきいき通信」に、「女性に対する暴力をなくす運動」と全国共通ナビダイヤルの記事を掲載した。 ・前年度と同様に、いわて男女共同参画サポーターの会気仙ブロックとおおふなと男女共同参画「うみねこの会」による、「女性に対する暴力をなくす運動」に係る街頭啓発活動を支援した。

※下線部の取組は、令和3年度に新たに実施したものです。

○令和3年度における上記以外の新たな取組



取組概要	取組内容
生理の貧困への対応（岩手県との連携事業）	・コロナ禍における女性への支援対策として、生理用品の無償提供をきっかけに、対象者を支援へつなげる取組を実施した。（国の交付金制度（地域女性活躍推進交付金）を活用して岩手県が実施する、女性のためのつながりサポート事業『いわて女性のスペース・ミモザ』と連携して市内で展開。） ・この取組を周知するため、市内商業施設での啓発パネル展の際にポスターを掲示したほか、市広報紙の「いきいき通信」に関係記事を掲載した。